

2052 :

AA 2

Space

Odyssey

dy ss ey

あなたは見る  
33年後の世界を  
近未来を考える  
夏のアカデミー

あいちトリエンナーレ芸術大学連携プロジェクト  
U27プロフェッショナル育成プログラム 夏のアカデミー2019  
「2052年宇宙の旅」



情の時代



あいち  
トリエンナーレ  
2019  
AICHI TRIENNALE 2019:  
Taming Y'Our Passion

愛知県立芸術大学

NAGOYA  
TOYO 名古屋造形大学



Agency for Cultural Affairs,  
Government of Japan

# あいちトリエンナーレ芸術大学連携プロジェクト 「U27 プロフェッショナル育成プログラム 夏のアカデミー2019「2052年宇宙の旅」」 募集概要

## 概要

映画監督スタンリー・キューブリックは1968年に、33年後という近未来を想像し描出した映画「2001年宇宙の旅」を発表しました。2019年は、キューブリックの映画の誕生から50年が経過し、近未来だった2001年が既に20年近く前のこととなっています。現在から33年後先の2052年の世界はどのような状況になっているのでしょうか？本プログラムは、地域の芸術文化の育成と発信を促進することを目的に、愛知県内の3つの芸術大学（愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学）との連携事業として実施するもので、芸術大学の学生、卒業生及び公募により選考された参加者が、「あいちトリエンナーレ2019」の会期中に、短期集中型のワークショップを受講し、33年後の未来の都市や生活空間を創造するパヴィリオンをつくります。多彩な講師陣による講義と共同制作を交えて生み出されるパヴィリオンは、あいちトリエンナーレ会期後半に展覧会として公開します。

## プログラムの流れ

【オリエンテーション】2019年8月18日(日)

今回のプロジェクトでどのようなことをするのか、概要説明とメンバー顔合わせなどを行います。

【集中講義】2019年8月24日(土)～8月28日(水)

ゲスト講師によるレクチャーや、グループワークによって展覧会で発表するパヴィリオンのアイデアを検討します。

【制作】2019年8月29日(木)～9月20日(金)

パヴィリオンを制作します。

【展示】2019年9月21日(土)～10月14日(月・祝)

完成した作品をアートラボあいちにて展示します。

【振り返り】2019年10月15日(火)～10月27日(日)

期間内の1～2日間、プロジェクトについての振り返りを行います。

【撤収】2019年10月28日(月)～10月31日(木)

パヴィリオンを撤収します。

## プログラム構成

集中講義後、パヴィリオン制作に向けてコース分けを実施する予定です。

3つのコースを設け、それぞれにディレクターとチューターが付きます。

・キュレーションコース(企画／制作／広報・記録・コミュニケーション)

【講師：服部浩之】

キュレーションや制作に特化したコース。パヴィリオンを実現するための、テーマ・コンセプトの検討から、マネジメント、広報までを学ぶ。

・アーティストコース(身体／ビジュアル／メディアを用いた表現全般)

【講師：山城大督】

主に表現することや作品制作の部分を担うコース。アーティスト的視点でのものづくりを学ぶ。

・建築コース(空間／建築／デザイン)

【講師：辻琢磨】

空間設計など、主にハード面の創造に特化したコース。作品の展示、プロジェクトの進行に適した空間づくりを学ぶ。

## 対象

27歳以下で、アート、デザイン、建築などの表現活動や、キュレーション、展覧会企画、マネジメントを職業とすることを目指している者

募集人員|6名程度

活動期間|2019年8月18日(日)～10月31日(木)

活動場所|アートラボあいち

受講料|無料(別途材料費等の実費が必要となる場合があります)

## キュレーションコース講師|

服部浩之／Hattori Hiroyuki

(キュレーター、アートラボあいちディレクター)

インディペンデント・キュレーター。アジア圏を中心に、展覧会やプロジェクト、リサーチ活動を展開する。滞在制作を軸としたアーティストとのプロジェクトを多数実践。「あいちトリエンナーレ2016」キュレーター(2016年)、「アッセンブリッジ・ナゴヤ」アートプログラムディレクター(2016年～)、「ESCAPE from the SEA」キュレーター(2017年)など。2019年、第58回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展日本館キュレーター。

## アーティストコース講師|

山城大督／Yamashiro Daisuke

(美術家、映像作家)

山口情報芸術センター[YCAM]エデュケーター(2006-2009)、「東京映像芸術実験室」主宰(2013)、アートコレクティブNadegata Instant Party(中崎透+山城大督+野田智子、2006より)。「プロジェクト／出来事とドキュメント／記録」における映像での可能性について日々探求する。京都造形芸術大学客員教授。

## 応募条件

・27歳以下(2019年7月3日時点)

・オリエンテーション、集中講義の全日程に参加可能であること

・制作、展示、振り返り及び撤収期間に積極的に参加可能であること

## 受講申込

受講希望者は、件名に「夏のアカデミー2019「2052年宇宙の旅」受講申込」と明記の上、申込み用紙に必要事項を記入し、①②と共に必要書類を添付して、Eメールもしくは郵送にてお申込み下さい。

①ポートフォリオ

②作文(800～1200字程度)

「33年後のアートセンターのかたち」

33年後には、通信技術の更なる進歩や移動手段の変化などによって、私たちの生活様式は、今とは変わってきているかもしれません。その時にあるアートセンターは、どのような存在としてかたちづけられているかを想像しながら作成して下さい。

※形式は自由。

※申し込み用紙はWebサイト(<http://aichitriennale.jp/ala/>)よりダウンロードください。

申込締切|2019年7月3日(水)必着

## 選考スケジュール

選考結果通知:2019年7月17日(水)※メールにて通知

面接期間:2019年7月25日(木)

※書類選考に合格された方のみアートラボあいちにて面接を行います

※上記の面接日に不都合がある場合は個別に調整します。

## 申込先

アートラボあいち「人材育成プログラム」係

Eメール [ala@aichitriennale.jp](mailto:ala@aichitriennale.jp)

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内三丁目4-13

愛知県庁大津橋分室2階 アートラボあいち

主催|あいちトリエンナーレ実行委員会

愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学

企画|服部浩之(キュレーター、アートラボあいちディレクター)

山城大督(美術家、映像作家)

## 建築コース講師

辻琢磨／Tuji Takuma

(建築家。403architecture [dajiba])

彌田徹、橋本健史とともに「403architecture[dajiba]」設立(2011)、「辻琢磨建築企画事務所」設立(2017)。「富塚の天井」(第30回吉岡賞受賞、2014)、「第15回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展日本館審査員特別表彰」(2016)※403architecture[dajiba]。滋賀県立大学、大阪市立大学、武蔵野美術大学非常勤講師。

## ゲスト講師(予定)

高嶺格(美術作家、秋田公立美術大学教授)

津田大介(「あいちトリエンナーレ2019」芸術監督)

やなぎみわ(舞台演出家、美術作家)

他、豪華ゲスト多数!